

第3章

VSCode から手軽に呼び出せて
さまざまなモデルに切り替え可能

ローカルで動く AI コーディ ング・アシスタントを作る

氏森 充

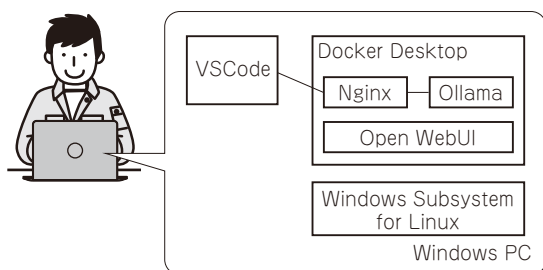


図1 個人開発の場合のシステム構成

本章では、個人またはグループでの開発環境に AI コーディング・アシスタントを導入するために必要な環境と手順について紹介します。導入形態（クラウド型/ローカル型）や、利用目的によって必要な準備や構成は異なりますが、本稿では特にローカル実行を前提とした構成を中心に解説します。

用意するハードウェア

● 個人の場合

個人の場合は1台のPCにソフトウェアをインストールします(図1)。PC性能の要件を次に示します。

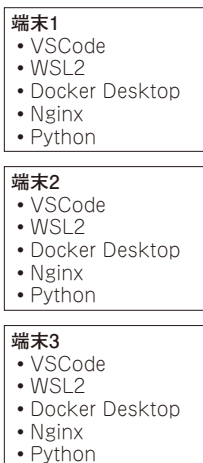


図2 グループ開発の場合のシステム構成

OS : Windows 11
CPU : Core i5-10500 以上
RAM : 32G バイト以上
GPU : GeForce RTX 3060 以上
SSD : 1T バイト以上

GPUはRTX 3060 以下でもよいのですが、処理が遅くなります。本誌サポート・ページにハードウェア要件をまとめました。

<https://interface.cqpub.co.jp/if2507u/>

● グループの場合

グループの場合は2人以上のユーザが複数のPCを利用します(図2)。

▶ 端末 PC

端末側のPCは次のようにエントリ品で十分です。

OS : Windows 11
CPU : N100 以上
RAM : 8G バイト以上

▶ サーバ PC

サーバ側は次のように高い性能が必要になります。

OS : Windows 11 Pro
CPU : Core i5-10500 以上
RAM : 64G バイト以上
GPU : GeForce RTX 3060 以上

各サーバで実行できるLLMは、1種類にする
(複数のLLMを切り替えると遅延が大きくなるため)